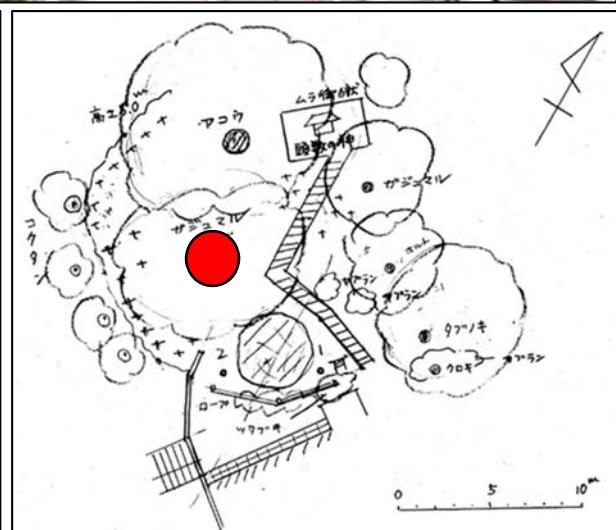


認定番号 95

嘉数公民館のガジュマル



| | | | | | | | |
|-----------|--|----|-----------------|------------------------|---|-------|------------------------------|
| 樹種名 | ガジュマル | 科名 | クワ科 | 方言名 | ガジマル | 学名 | <i>Ficus microcarpa L.f.</i> |
| 形状・寸法 | 樹高 10.9 m 胸高周囲 5.7 m 根本周囲 6.9 m | | | | 樹幹占有面積 144 m ² | | |
| 枝下高 | 3 m | 枝張 | 東 6.5 m 西 6.2 m | 南 7.7 m 北 6.7 m | | 最大樹冠幅 | 14.4 m |
| 通称 | 嘉数公民館のガジュマル | 樹齢 | 90 年(推定) | 所有者 | 1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明 | | |
| 所在地 | 豊見城市字嘉数1-1 | | | | | | |
| 立地場所 | 1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 | | | 状況 | 1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他 | | |
| 保護制度 | 1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし | | | 気象条件 (最寄りのアメダステーブル) | 月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 平均気温(°C) 16.8 17.9 18.4 20.9 23.6 26.9 降水量(mm) 36.5 55 51.5 36.5 66.5 117.5 平均風速 5.0 5.4 5.6 5.1 4.9 5.1 風向 NNW N SW ESE S SSW 月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平均気温(°C) 29.3 28.7 28.8 25.4 22.6 17.6 降水量(mm) 212.0 70.5 36.5 252 30 34.5 平均風速 6.3 4.6 4.2 6.7 5.1 5.7 風向 SE SW SSE ENE NNE N | | |
| 周囲の状況 | 1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 () | | | 地点:那覇 2014年 | | | |
| 土地傾斜 | 1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) | | | | | | |
| 土壤 | 1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 () | | | | 年平均気温 23.1 °C 最高気温 33.9 °C 年降水量 2584.5 mm 最低気温 10.6 °C | | |
| 基岩・母材 | | | | | | | |
| 地形 | 1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 崑崙 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他 | | | 潮風の影響 | 1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記) | | |
| 土性 | 1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 塗壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 塗土:ほとんど砂を感じない | | | 日照条件 | 1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良 | | |
| 根元及び周囲の植生 | 草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし | | | 周辺樹木の影響 | 1 なし 2 わざかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況)) | | |
| | | | | 周辺根元の状況 | 1 土壤の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし | | |
| | | | | 周辺樹木との関係 | 1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている | | |

| | |
|-----------|---|
| 管理状況 | 1 檻 a 有 b 無 (有の場合の高さ 0.8 m、材質(木) 檻内面積(22 m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他 |
| 過去の治療歴と内容 | 大枝が切り落とされ、癒合材が塗布されているが、腐朽がかなり進行している。 |
| 故事来歴 | 1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明 |
| 視認性 | 1 遠方からも目立つ 4 敷地内にはいるとよく見える 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 5 敷地内に入っても見えない (理由) |
| 特記事項 | 1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (アコウ、クワノハエノキ、ハマイヌビワ、サクララン、ヤドリフカノキ、ツルムラサキ、オオイデビ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 4 その他 生徒・父兄等 |

地上部の衰退度判定 (認定番号95)

| 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--------------|---------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 樹勢 | 旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない | 幾分影響を受けているが、あまり目立たない | 異常が明らかに認められる | 生育状況が極めて劣悪である | 殆ど枯死 |
| 2 樹形 | 自然樹形を保っている | 若干の乱れはあるが、自然樹形に近い | 自然樹形の崩壊がかなり進んでいる | 自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している | ほとんど完全に崩壊 |
| 3 枝の伸長量 | 正常 | 幾分少ないか目立たない | 枝は短くなり、細い | 枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある | 下からの萌芽枝のみ僅かに生長 |
| 4 梢や上枝の先端の枯損 | なし | 少しあるが目立たない | かなり多い | 著しく多い | 梢端がない |
| 5 下枝の先端の枯損 | なし | 少しあるが目立たない | かなり多い、切断が目立つ | 著しく多い、大きな切断がある | ほとんど健全な枝端がない |
| 6 大枝・幹の損傷 | なし | 少しあるが回復している | かなり目立つ | 著しく目立つ大きく切断されている | 大枝・幹の上半分がかけている |
| 7 枝葉の密度 | 枝と葉の密度のバランスが取れている | Oに比べてやや劣る | やや疎 | 枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎 | ほとんど枝葉がない |
| 8 葉の大きさ | 葉が全て十分な大きさ | 所々に小さい葉がある | 完全にやや小さい | 全体に著しく小さい | 僅かな葉しかなく、それも小さい |
| 9 樹皮の傷 | 傷はほとんどなし | 穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない | 古傷がある | 傷からの腐朽が著しい | 大きな空洞、剥がれがある |
| 10 樹皮の新陳代謝 | 樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発 | 普通 | 樹皮に活力がない | 著しく活力がない | 樹皮の大部分が枯死 |
| 11 脳吹き・ひこばえ | 枝は量が多く脳吹きひこばえもない | 枝葉量が多いが脳吹き又はひこばえもある | 枝葉量が少なく脳吹き、ひこばえがある | 枝葉量が極めて少なく、脳吹きひこばえが多い | 枝葉量が極めて少なく脳吹き、ひこばえも少ない |

衰退度=各項目の評価値の合計／11(評価項目) = 1.64

衰退度判定基準

| 衰退度区分 | I | II | III | IV | V |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | 0.8未満 | 0.8～1.6未満 | 1.6～2.4未満 | 2.4～3.2未満 | 3.2以上 |
| | 良 | やや不良 | 不良 | 著しく不良 | 枯死寸前 |

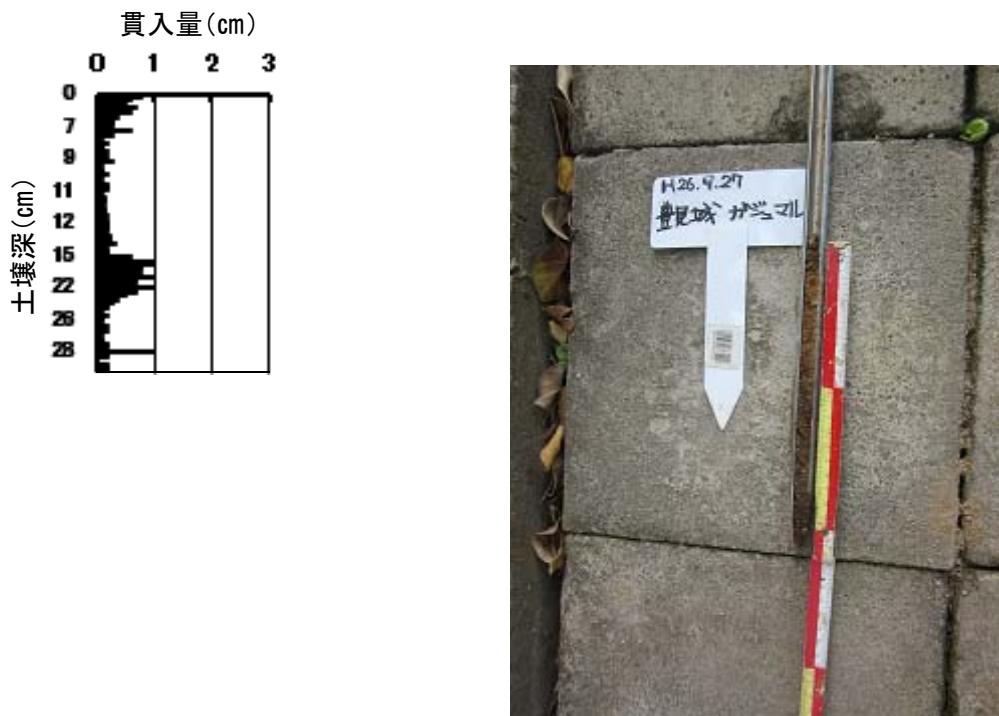
倒木・枝折れ等危険度判定

| 項目 | 判定 | 安全 | 可能性あり | 可能性高い | 明らかに危険 |
|---------------|----|----|-------|-------|--------|
| 通行者・建物等との位置関係 | | | | ○ | |
| 根返り | ○ | | | | |
| 幹折れ | | | ○ | | |
| 大枝折れ | | | | | ○ |
| 中・小枝落下 | | ○ | | | |
| 幹の傾斜の増大 | ○ | | | | |
| その他() | | | | | |

土壤調査結果（認定番号 95）

| 層位 | 土壤色 | 深さ | 構造 | 土性 | pH | EC(dS/m) | 備考 |
|-----|----------|------|----|-----|-----|----------|------------|
| I | 7.5YR5/6 | 0—9 | 粒状 | 埴壌土 | 7.7 | 1.4 | 丘陵地 に生育 |
| II | 10YR4/3 | 9—17 | 粒状 | 埴壌土 | | | |
| III | 7.5YR3/4 | 17— | — | 埴壌土 | | | |

土壤貫入量結果



認定番号 95

嘉数公民館のガジュマル

| 部位 | 所見 | 対応 |
|----|---|--|
| 土壤 | <ul style="list-style-type: none"> ・固結している。 ・根が伸長できる面積が狭い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺を手入れして他の植物との競合の低減を図るなど、生育に必要な面積の確保の方策を検討する。 |
| 根 | <ul style="list-style-type: none"> ・イチジクカミキリの食害痕、脱出孔が確認される。 ・西～北東側の根がせん断されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・根圈を広げる必要がある。柵を設けて根を誘導するなどの措置を検討する。 |
| 幹 | <ul style="list-style-type: none"> ・樹皮に活力がなく傷が多い。 ・北西側 2m 付近の幹の分岐点の腐朽が著しい。ヤドリフカノキ、クワノハエノキ、オオタニワタリ、ツワブキ等が着生している。 ・樹幹内部は空洞化しており、不定根が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・無し。 ・無し。 |
| 枝 | <ul style="list-style-type: none"> ・西面の大枝基部にイチジクカミキリの被害が見られる。基部にサルノコシカケ(種不明)が見られ、内部の腐朽は著しい。 ・南面及び北面の大枝の中央部にイチジクカミキリの食害痕が激しく、シロアリの食害痕も認められる。 ・危険枝の切り落としは、ある程度なされているが不十分であると考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・折損の危険が大きいため基部から切除し殺菌癒合材の塗布を検討する。 ・危険枝、枯死枝を切除し殺菌癒合材の塗布を検討する。 ・気根の育成、支柱根化への誘導を検討する。 |
| 葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・葉量はやや乏しいが、特に異常は認めない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・無し。 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・枝の切り落としがなされ、断面に塗料が塗られているが、再治療の必要があると考える。 ・全体的に活力の低下が著しく、気根の発生も少ない。 | |

